

# 鶴見大学紀要

## 第 59 号

### 第 1 部 日本語・日本文学編

#### 目 次

憑依の文学 ——『源氏物語』の物語論から——	奥村英司	( 1 )
鶴見大学図書館蔵『遠嶋百首抄』翻刻・校異	田口暢之	( 15 )
僧正公朝の和歌注釈稿補遺 (続)	中川博夫	( 73 )
河竹黙阿弥作『双蝶色成曙』をめぐって		
——「お竹大日如来」の歌舞伎化——	神林尚子	( 85 )
『呂氏春秋』の形成	田中智幸	(113)
静嘉堂文庫蔵陸氏十萬巻楼本『開元天寶遺事』		
——略解題・簡校——	高田信敬	(143)
W.G. アストン『日本文語文典』初版 訳注稿 (2)	遠藤佳那子	(左 8)
鶴見大学紀要投稿規定		(左 4)
〔彙 報〕	教員研究業績一覧	(左 1)

# 鶴 見 大 学

2022 年 3 月 (令和 4 年 3 月)

THE BULLETIN OF TSURUMI UNIVERSITY

VOLUME 59 PART 1

STUDIES IN JAPANESE LANGUAGE AND  
LITERATURE

CONTENTS

OKUMURA Eiji :

Structure of possession in literature

-Consideration of narratology in “Genji Monogatari”-

TAGUTI Nobuyuki :

The *Ento-Hyakushusho* owned by Tsurumi University Library draft

NAKAGAWA Hiroo : Addendum to the study of Kocho’s waka poems (2)

KAMBAYASHI Naoko :

A Study on “Futatsu-Chou Iro-no Deki-Aki” by Kawatake Mokuami :

Adapting the Folktale of *Otake-Dainichi Nyorai* as Kabuki

TANAKA Tomoyuki :

Formative process of “Lu shi chun chu”

TAKADA Nobutaka :

A Text of Rikusi-jumanganrou owned by Seikato-Bunko “Kaigen-Tempou-Iji”

-an introduction and a compilation of variant reading

ENDO Kanako : A Japanese Translation with Notes:

*A Grammar of the Japanese Written Language* (1st ed.) by W.G. Aston (2)

MARCH 2022

# 鶴見大学紀要

第 59 号

第 1 部 日本語・日本文学編

鶴 見 大 学

## 鶴見大学紀要投稿規程

(趣旨)

**第1条** 鶴見大学（以下「大学」という。）および鶴見大学短期大学部（以下「短期大学部」という。）において研究または教育に従事する者の成果を紀要に公表することについて定めるものである。

(投稿資格)

**第2条** 紀要に投稿できる者は、原則として、大学および短期大学部において研究または教育に従事する者およびこれと共同で研究に従事する者とする。

(投稿原稿)

**第3条** 原稿は、未刊行のものに限る。定期刊行物（学術雑誌、商業雑誌、大学・研究所紀要など）や単行本として既刊、あるいは、これらに投稿中の原稿は本紀要に投稿できない。ただし、学会発表抄録や科学研究費などの研究報告書はその限りではない。

(紀要の部編)

**第4条** 紀要の部編は4種類とし、その邦文及び欧文の標題は次のとおりとする。

- 一 鶴見大学紀要 第1部（日本語・日本文学編）  
THE BULLETIN OF TSURUMI UNIVERSITY PART 1  
(STUDIES IN JAPANESE LANGUAGE AND LITERATURE)
- 二 鶴見大学紀要 第2部（外国語・外国文学編）  
THE BULLETIN OF TSURUMI UNIVERSITY PART 2  
(STUDIES IN FOREIGN LANGUAGES AND LITERATURE)
- 三 鶴見大学紀要 第3部（保育・歯科衛生編）  
THE BULLETIN OF TSURUMI UNIVERSITY PART 3

(STUDIES IN INFANT EDUCATION AND DENTAL  
HYGIENE)

四 鶴見大学紀要 第4部 (人文・社会・自然科学編)

THE BULLETIN OF TSURUMI UNIVERSITY PART 4  
(STUDIES IN HUMANITIES, SOCIAL AND NATURAL  
SCIENCES)

(発行の回数)

**第5条** 紀要は、年度内に1回発行することを原則とし、その時期は年度末3月とする。

(提出原稿)

**第6条** 原稿の作成は、紀要刊行内規で定められた投稿要綱に従うものとする。

(原稿の提出先)

**第7条** 原稿は、投稿する部編の紀要委員に提出するものとする。

(原稿の提出締切日)

**第8条** 原稿の提出締切日は、部編により別に定める。

(編集)

**第9条** 編集は、紀要委員会が行うものとする。

(別刷)

**第10条** 50部を超える別刷の費用は、著者が負担するものとする。

(著作権)

**第11条** 紀要の公開にともなう、複製権および公衆送信権に関わる著作権の行使は、原則として大学および短期大学部に帰属する。ただし、著者が自分の論文等を利用することは差し支えない。

二 論文等の全部あるいは大部分を他の著作物等に利用する場合には、その旨を大学および短期大学部に申し出ると共に、出典を明記する。また、一部分を利用する場合にも、文献あるいは図説の下に出典を明記する。

三 掲載された論文等の執筆内容が第三者の著作権を侵害するなどの

鶴見大学紀要投稿規程

指摘がなされた場合には，著者がその責任を負う。

**附 則** この規程は，平成 21 年 4 月 1 日から施行する。

# 〔彙 報〕

## 教員研究業績一覧 (2021・1～2021・12)

遠 藤 佳 那 子

### 【口頭発表】

- ・「尾崎紅葉『金色夜叉（前編）』のコーパス構築と研究の試み」 第383回日本近代語研究会（オンライン開催、2021年6月26日）  
（共同発表：許哲、八木下孝雄、遠藤佳那子、仲村怜、高橋雄太）
- ・「義門『活語指南』に見られる和歌の俗語訳」 近代語学会2021年度研究発表会（オンライン開催、2021年11月20日）

### 【論文等】

- ・「W.G. アストン『日本文語文典』初版 訳注稿（1）」 『鶴見大学紀要』（日本語・日本文学編）58号 2021年3月
- ・「聖書翻訳におけるヘブライ語動詞連鎖の訳出一口語訳から聖書協会共同訳の実践へー」 『New 聖書翻訳』No.7 2021年10月  
（共著：高橋洋成、遠藤佳那子）

田 中 智 幸

### 【論文】

- ・『呂氏春秋』の統治論に見える墨家説 『鶴見大学紀要』（第一部 日本語・日本文学編）第58号 2021年3月

神 林 尚 子

【論文】

- ・「地方伝承としての「烈女伝」  
——「烈女ふじ」と飯田の郷土史」 (『歴史評論』848号、  
2020年12月)
- ・「塚原洪柿園と「烈女」の劇化  
——小説「藤江」と歌舞伎『緋桜』」 (『鶴見大学紀要』58  
号、2021年3月)
- ・「三遊亭円朝遺稿・円喬口演『烈婦お不二』  
——もう一つの「操競女学校」」 (『国文鶴見』55号、  
2021年3月)

【口頭発表】

- ・「文化・嘉永期の「お竹大日如来」伝承と  
江戸出開帳—開帳錦絵を中心に」 (総合女性史学会・近  
世史部会第160回例  
会、2021年10月2日、  
オンライン開催)

【その他】

- ・「令和二年、国文研閲覧室の山東京伝」 (国文学研究資料館  
「ないじえるリポー  
ト」、同館ホームペー  
ジ掲載、2021年4月)

中 川 博 夫

『柳葉和歌集』の概要

『鶴見大学紀要』  
(第一部 日本語・  
日本文学編) 58  
2021・3

源親行の和歌注釈補遺

同上

僧正公朝の和歌注釈補遺

同上



自撰家集としての『中書王御詠』

『日本文学研究ジャーナル』20 2021・12

田 口 暢 之

〔論文〕

「実感」の題詠歌

—『遠鳥百首』と『遠鳥歌合』を中心に—

(國語と國文學 98-11、  
2021年11月)

「建仁元年『石清水社歌合』の判者

—鶴見大学図書館本の紹介を兼ねて—

(汲古80、2021年12月)

〔学会発表〕

田口暢之「特殊な沓冠歌

—源俊頼と順徳院を中心に—

(和歌文学会6月例会、  
2021年6月19日、オン  
ライン開催)

「配所における後鳥羽院詠

—題詠を視座として—

(中世文学会秋季大会、  
2021年10月10  
日、オンライン開催)

## 本号執筆者一覧

- |       |                |
|-------|----------------|
| 奥村英司  | (短期大学部准教授・国文学) |
| 田口暢之  | (文学部准教授・国文学)   |
| 中川博夫  | (文学部教授・国文学)    |
| 神林尚子  | (文学部准教授・国文学)   |
| 田中智幸  | (文学部教授・漢文学)    |
| 高田信敬  | (名誉教授・国文学)     |
| 遠藤佳那子 | (文学部講師・日本語学)   |

## 前 号 目 次

『柳葉和歌集』の概要	中川博夫
源親行の和歌注解補遺	中川博夫
僧正公朝の和歌注釈補遺	中川博夫
叡山文庫本『尊円親王詠法華経百首』翻刻	
——付、校異・他出一覧——	田口暢之
恒川了廬旧蔵書（西尾市岩瀬文庫所蔵分）	
——貼紙「寛政九年山科貞松院七十七才改之」——	松本文子
塚原洪柿園と「烈女」の劇化	
——小説「藤江」と歌舞伎『緋桜』——	神林尚子
『呂氏春秋』の統治論に見える墨家説	田中智幸
W.G. アストン『日本文語文典』初版 訳注稿（1）	遠藤佳那子
鶴見大学紀要投稿規定	
〔彙 報〕	教員研究業績一覧

鶴見大学紀要 第五九号

第一部 日本語・日本文学編

二〇三二年三月一日 印刷  
二〇三二年三月二五日 発行

発行人 中根正賢

印刷所 三美印刷株式会社

116  
0013 東京都荒川区西日暮里五丁目十六ー七

電・東京(3803)三三三一

発行所 鶴見大学

230  
8501 横浜市鶴見区鶴見二ー一ー三

電・横浜(045)581-1001(代)